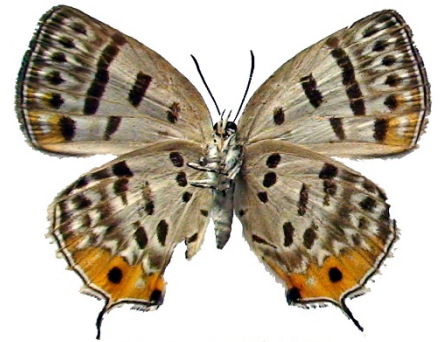


ウスイロオナガシジミは、ヒロオビミドリシジミの生息地に通うようになってからは、兵庫県西播磨の上月町や佐用町の雑木林で確実に出会える種となっており、ナラガシワの多い林のそばを進む小道傍で、偶然羽化したばかりの本種が背の低い笹竹の葉裏で翅を伸ばす光景にも遭遇している。2003年6月に久しぶりに上月町の生息地を訪れた際には、雑木林への入り口に鉄柵が設置されるなど自然環境が悪化していて、キマダラモドキとウラゴマダラシジミをみただけで本種には出会えていない。

初めての出会いとなると、1975年の8月、日光霧降高原から急峻な下り道をたどって平地部へと向かう途上、広葉樹が多い部分で本種を採集したのが最初となるが、その標本は残っていない。この日は2才9か月の娘と4才の息子を連れての家族旅行で、降り立った平地部はダンプカーが行き交うとてつもなく危ない砂利道が続く場所で、気の毒に思った親切な運転手さんが安全な場所までダンプカーに乗せてくれたという貴重な体験をしている。後にも先にもダンプカーに乗ったのはこのときだけだが、運転席は想像以上に高い位置にあって見下ろす路面は格段に低く、運転手が優越感をもっても不思議ではないと思えたものだ。



June 18, 1971
兵庫上月町



June 9, 2001 兵庫上月町